

株式会社レゾナック・ホールディングス
〒105-7325 東京都港区東新橋 1-9-1

2024年11月5日

2025年1月1日、「クラサドーム大分」に生まれ変わります -大分スポーツ公園の愛称変更のお知らせ-

J2 サッカークラブの大分トリニータのホームスタジアムとして知られている、大分県大分市の「レゾナックドーム大分」の愛称が、2025年1月1日から「クラサドーム大分」に変わります。

株式会社レゾナック・ホールディングス（社長：高橋 秀仁 以下当社）は、2019年に前身である昭和電工株式会社が、大分県より大分スポーツ公園（所在地：大分県大分市横尾 1351 番地）の施設に関するネーミングライツ（命名権）を取得しました。2023年の社名変更に伴い、現在は同公園内の各施設に「レゾナック」の名称を付けた愛称でご利用いただいているます。

このたび当社は、大分コンビナートを中心とする石油化学事業を2025年1月1日付で100%出資子会社のクラサスケミカル株式会社（社長：福田 浩嗣）として分社し、独立運営することを発表しております*。これに合わせ、大分スポーツ公園内にある各施設の愛称も「クラサス」を付けた愛称に変更することになりました。

新会社の社名である「クラサス」は、Cras（明日/ラテン語）と Sustainable（持続可能な）、さらに暮らしと Sustain（支える）のダブルミーニングによる造語です。人々の暮らしに欠かすことができない石油化学産業で、カーボンニュートラルと循環型社会の構築をリードし、サステナブルな社会の実現に貢献する、という想いを込めています。

このたびこれらの想いを形にしたブランドロゴも制定しました。当ロゴは「トウモローアーク（明日に架ける弧）」をイメージし、AからS（“明日”）に描かれたアークは、心地よい社会、地球を、明日（次世代）につなげ、つづける、サステナブル社会の実現への貢献を象徴しています。



新社名を施設名として、クラサスケミカルを一層身近に感じ親しみを持っていただけるよう、今後も地域社会と対話を一層深め、サポートする存在として活動していきます。

「クラサドーム大分」ほか様々なスポーツ施設を有する大分スポーツ公園に、ぜひお越しください。

ネーミングライツの対象施設（2025年1月1日からの新愛称）

総合競技場	:	クラサドーム大分
テニスコート	:	クラサステニスコート
サブ競技場	:	クラサスグラウンド
サッカーラグビー場	:	クラサスサッカー・ラグビー場
野球場	:	クラサスタジアム
投げき場	:	クラサスフィールド
大分県立武道スポーツセンター	:	クラサス武道スポーツセンター



現「レゾナックドーム大分」（2025年1月1日より「クラサドーム大分」）

*2024年10月22日発表

石油化学事業のパーシャル・スピンドルに向けたグループ組織再編(簡易吸収分割及び現物配当)に関するお知らせ
https://www.resonac.com/sites/default/files/2024-10/20241022%20Resonac_news_j%20_1.pdf

以上

【Resonac（レゾナック）グループについて】

レゾナックグループは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ化学会社です。2023年1月に昭和电工グループと昭和电工マテリアルズグループ（旧日立化成グループ）が統合し、新たなスタートを切りました。新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistry の「C」を組み合せて生まれました。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創

を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2023 年度の売上高は約 1 兆 3 千億円、うち海外売上高が 53% を占め、世界 22 の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2024 年 2 月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス
ブランド・コミュニケーション部 メディア・リレーションズグループ
TEL 03-6263-8002